



文責 岩根小校長 佐藤勇人

## 2

月がスタート!  
〜次への

一步を踏み  
出す準備の月



早くも2月になりました。明後日は立春ですが、冬の寒さはまだまだ続きそうです。来週には学力テストがあり、その後もスキー体験教室やなわとび記録会、鼓笛移杖式などの大事な行事が予定されています。病気の予防とともに、寒さに負けず今月を乗り切っていくように児童の健康管理に努めていきたいと思っています。今月も、ご家庭のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、3月には卒業式があり、2月はそれぞれの学年が進級・進学に向けて、準備を始める時期です。

そこで、始業式に続いて、また

またサッカー選手のお話です。

皆さんは、無尽蔵のスタミナで日本代表チームを牽引した北澤豪さんを覚えているでしょうか。当時J1のヴェルディに入る前の彼にも、つらい時期があったそうです。そのときに、北澤さんのお父さんがかけたひと言が、「おまえは自分を本当に理解できているのか?」という言葉だったということです。

自分が一生懸命練習し、試合でも、精一杯動くけどうまくいかないことを相談すると、

「おまえは自分を本当に理解できているのか。監督はおまえが一生懸命やってもうまくいかないことを知っていて、ゲームに出られないなら当然だ。もう一度自分のことを振り返ったらどうだ。」

と言ってくれたそうです。

自分の悪いところをあまり考えていなかった北澤さんは、振り返ることから始め、ノートに自分の失敗したことをどんどん書き込むようになりました。

その中で、ボール扱いの苦手な点や、自分の癖が相手に知られていることにも気付いていったそうです。そうやって、自分のよい点ばかりでなく悪い点を見つめ直し、誰よりも早くグラウンドに出て、練習するようになりました。そうす

ると、ちよつとした工夫で、練習やミニゲームでいい動きができるようになり、監督から声がかかり、ベンチ入りさせてもらえるようになったのです。

ゲームに出た日には、その日のうちに、グラウンドに戻ってできなかったことを反復練習。みんなに見られるのが恥ずかしいので、見つかからないように寮をそつと出ることでもあったそうです。この頃から、点を取ることをイメージしながらプレーしていたようです。そうして、着実に経験と努力を重ね、1993年のJリーグ開幕を読売ヴェルディの一員として迎えることができたのです。

こうして自分の夢を叶えた北澤さんは次のようにも言っています。

「成し遂げたい強い夢を持つていない人に、『頑張れ、続ける。』とは言いたくない。くじけそうになつたときに、その場に踏みとどまって、成功したときの自分をイメージする努力をした方がいい。途中の失敗も、次の成功のための大事な引き出しになるから。」

この話は、どんなことでも努力なしには進めないことを教えてくれます。自分の夢や目標に向かって、まずは次の一步を踏み出せるように、準備する2月にしてほし

いと思います。

何事も踏み出さないと次には進めません。一步を踏み出すときに保護者の皆さんは、そつとお子さんの背中を押し、「夢は叶う」と教えてあげてください。

## 入

賞おめでとう!



第61回福島県書きぞめ展

【硬筆の部】

書きぞめ大賞

2年

【毛筆の部】

書きぞめ準大賞

6年

第8回本宮市ふれあい書き初め

大会

金賞

6年

銅賞

3年

4年

平成28年度ふくしまを十七文字  
で奏でよう絆ふれあい支援事業コ

ンクール

県北教育事務所奨励賞

2年

6年